



様式 7-1

特定事象発生通報 (原子炉施設)

平成 23年 3月 11日

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

(発信時刻 時 分)

第 10 条 通報

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について, 原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づき通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所1~5号機
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 11日 15時 42分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	<p>特定事象の種類</p> <p>①敷地境界放射線量上昇 ⑧全交流電源喪失 ②放射性物質通常経路放出 ⑨直流電源喪失 (部分喪失) ③火災爆発等による放射性物質放出 ⑩停止時原子炉水位低下 ④スクラム失敗 ⑪燃料プール水位低下 ⑤原子炉冷却材漏えい ⑫中央制御室使用不能 ⑥原子炉給水喪失 ⑬原子炉外臨界蓋然性 ⑦原子炉除熱機能喪失</p>
	<p>想定される原因</p> <p>故障, 誤操作, 漏えい, 火災, 爆発, 地震, 調査中, その他 ()</p>
	<p>検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備等の状態等</p> <p>原子炉の運転状態 発生前 (運転中, 起動操作中, 停止操作中, 停止中) 発生後 (状態継続, 停止操作中, 全制御棒全挿入) ECCS系の作動状態 (要求信号/有・無, 成功, 一部失敗, 全台失敗) 排気筒放射線モニタの指示値 (排気筒名: 確認中) 変化無し, 変化有り (発生前の値 確認中) モニタリングポストの指示値 確認中 変化無し, 変化有り (発生前の値 _____ nGy/h → 最大値 _____ nGy/h, MPNo. _____) その他 地震発生に伴う津波によりD/G冷却海水系が水没したため、冷却水が無くなり、D/Gがトリップした。</p>
その他特定事象の把握に参考となる情報	<p>1~5号機: D/G全台使用不能</p> <p>6号機: 6B D/Gのみ運転中</p>

本店送付済	運転管理G
	本店その他()
送付日	福島事務所・他()
平成 23 年 3 月 11 日 16 時 45 分	

訂正あり



様式9-1

原子力災害対策特別措置法第15条第1項の基準に達したときの報告様式(原子炉施設)

平成 23 年 3 月 11 日	
発信時刻 時 分	
経済産業大臣; 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿骨折	
第 15 条 報 告	報告者 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
	連絡先 0240-82-2101(代) (G)
原子力災害対策特別措置法15条第1項に規定する異常な水準の放射線量の検出又は、原子力緊急事態に該当する事象が発生しましたので、以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及場所	東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
原子力緊急事態に該当する事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 2号機
原子力緊急事態に該当する事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (2.4時間表示)
発生した原子力緊急事態に該当する事象の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ① 敷地境界放射線量異常上昇 <input checked="" type="checkbox"/> ② 放射性物質通常経路異常放出 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 火災爆発等による放射性物質異常放出 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 原子炉外臨界 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 原子炉停止機能喪失 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 非常用炉心冷却装置注水不能
	<input type="checkbox"/> ⑦ 格納容器圧力異常上昇 <input type="checkbox"/> ⑧ 圧力抑制機能喪失 <input type="checkbox"/> ⑨ 原子炉冷却機能喪失 <input type="checkbox"/> ⑩ 直流電源喪失(全喪失) <input type="checkbox"/> ⑪ 炉心溶融 <input type="checkbox"/> ⑫ 停止時原子炉水位異常低下 <input type="checkbox"/> ⑬ 中央制御室等使用不能
想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input checked="" type="checkbox"/> 調査中
該当する事象の概要	1,2号機の原子炉水位の監視が正常にできず、注水状況が不明なため、急のために原法15条に該当すると判断しました。
その他事象の把握に参考となる情報	

備考: 別紙は様式8-1の別紙と同じ

訂正 特定事象の発生箇所と下記のとおり訂正します。

Rev.1

(正) 1~3号機 ← (誤) 1~5号機

様式 7-1

10:20

特定事象発生通報 (原子炉施設)

Rev.1 平成23年4月24日 (発信時刻 9時55分)

平成 23年 3月 11日

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

(発信時刻 時 分)

第 10 条 通報 通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
連絡先 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づき通報します。

原子力事業所の名称及び場所 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 1~3号機

特定事象の発生時刻 平成 23年 3月 11日 16時 42分 (24時間表示)

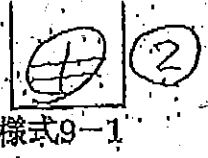
発生した特定事象の種類
①敷地境界放射線量上昇
②放射性物質通常経路放出
③火災爆発等による放射性物質放出
④スクラム失敗
⑤原子炉冷却材漏えい
⑥原子炉給水喪失
⑦原子炉除熱機能喪失
⑧全交流電源喪失
⑨直流電源喪失 (部分喪失)
⑩停止時原子炉水位低下
⑪燃料プール水位低下
⑫中央制御室使用不能
⑬原子炉外臨界蓋然性

想定される原因 故障, 誤操作, 漏えい, 火災, 爆発, 地震, 調査中, その他 ()

発生した特定事象の概要
検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備等の状態等
原子炉の運転状態
発生前 (運転中, 起動操作中, 停止操作中, 停止中)
発生後 (状態継続, 停止操作中, 全制御棒全挿入)
ECCS系の作動状態 (要求信号/有・無, 成功, 一部失敗, 全台失敗)
排気筒放射線モニタの指示値 (排気筒名: 確認中)
変化無し, 変化有り (発生前の値 確認中)
モニタリングポストの指示値 確認中
変化無し, 変化有り (発生前の値 nGy/h → 最大値 nGy/h, MPNo.)
その他
地震発生に伴う津波によりD/G冷却海水系が水没したため、冷却水が無くなり、D/Gがトリップした。

その他特定事象の把握に参考となる情報
1~5号機: D/G全台使用不能
6号機: 6B D/Gのみ運転中

本店送付済	運転管理G
	本店その他() 福島事務所・他()
送付日	平成23年3月11日16時45分



原子力災害対策特別措置法第15条第1項の基準に達したときの報告様式 (原子炉施設)

平成 23 年 (3) 月 11 日
 発信時刻 時 分

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿骨折

第 15 条 報 告 報告者 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
 連絡先 0240-82-2101(代) () G

原子力災害対策特別措置法15条第1項に規定する異常な水準の放射線量の検出又は、原子力緊急事態に該当する事象が発生しましたので、以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

原子力緊急事態に該当する事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 1-2号機

原子力緊急事態に該当する事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (2.4時間表示)

- | | | |
|-----------------------|---------------------|----------------|
| 発生した原子力緊急事態に該当する事象の種類 | ① 敷地境界放射線量異常上昇 | ⑦ 格納容器圧力異常上昇 |
| | ② 放射性物質通常経路異常放出 | ⑧ 圧力抑制機能喪失 |
| | ③ 火災爆発等による放射性物質異常放出 | ⑨ 原子炉冷却機能喪失 |
| | ④ 原子炉外臨界 | ⑩ 直流電源喪失 (全喪失) |
| | ⑤ 原子炉停止機能喪失 | ⑪ 炉心溶融 |
| | ⑥ 非常用炉心冷却装置注水不能 | ⑫ 停止時原子炉水位異常低下 |
| | | ⑬ 中央制御室等使用不能 |

想定される原因 特定 調査中

検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備等の状態等
 1,2号機の原子炉水位の監視がとられ、1号機の注水状況はわからなかったため、急の事態に「原電法15条」に該当すると判断しました。

その他事象の把握に参考となる情報

備考: 別紙は様式8-1の別紙と同じ



様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 11 日 (第 3 報)
発信時刻 時 分
(第 15 条-3 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第1号炉	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日17時07分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	⑥非常用電源系統停止 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input checked="" type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	炉1号機に於いては再び原子炉停止の 指示が出されたに反し、燃料冷却水 の不足を防止するため、急停の原子炉停止系統に 該当するを判断しました。
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 確認中
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候 : _____ ・風向 : 方位 _____ ・風速 : _____ m/s ・大気安定度 : _____ <input checked="" type="checkbox"/> 確認中
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 確認中
	応急措置	

(5)

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 11 日 (第 報)
発信時刻 時 分
(第 15 条 1 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)
G

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づき通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所
名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分: 電気事業)
場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所
福島第一原子力発電所 第一号機 冷却系

特定事象の発生時刻
平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類
原子力緊急事態に該当 ()する, ()しない

想定される原因
[] 特定 [] 調査中

発生した特定事象の概要
検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
燃料エレベーターポストに発電所内での汚染状況を確認したところ、通常と同じ値であり、現時点で周辺環境への影響はない。

その他特定事象の把握に参考となる情報
被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
被ばく者の状況
[] 無
[] 有: 被ばく者 名 要救助者 名
汚染拡大の有無
[] 無
[] 有:

気象情報 (確認時刻 時 分)
・天候 :
・風向 : 方位
・風速 : m/s
・大気安定度 :

周辺環境への影響
[] 無
[] 有:

応急措置

477

6

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 11 日 (第 報)
発信時刻 時 分
(第 15 条-5 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長

連絡先(原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所
名称:東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分:電気事業)
場所:福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所
福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻
平成 23 年 3 月 11 日 時 分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要
特定事象の種類
原子力緊急事態に該当 (□する, □しない)

想定される原因
□特定 □調査中

検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
この数において、原子炉水位が不明であり、RCIC系により原子炉への注入状況も確認できないため、原子炉水位がTAFに到達する可能性がある。そのため、地域住民に対し、避難工場の自治体に要請の準備を進めております。
※TAF:有効燃料頂部

その他特定事象の把握に参考となる情報
被ばく者の状況及び汚染拡大の有無(確認時刻 時 分)
被ばく者の状況 不明
□無
□有:被ばく者 名 要救助者 名
汚染拡大の有無
□無
□有:

気象情報(確認時刻 時 分)
・天候 :
・風向 : 方位
・風速 : m/s
・大気安定度 :

周辺環境への影響
□無
□有:

応急措置

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

20:30現在

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	IC動作中 HPCI (電源復帰待ち)	当初、RCIC が起動し、L8 トリップ、その後、再起動前に電源喪失で起動不可 RCIC 停止中 HPCI (電源復帰待ち)	RCIC 動作中	停止中	停止中	停止中
原子炉圧力	不明 (20 時 15 分以降確認できず:PHS 不通)	不明 (20 時 15 分以降確認できず:PHS 不通)	7.1MPa	-	-	-
原子炉水位	不明 計測電源喪失のため	水位不明 計測電源喪失のため	+600mm (ワイド)	-	-	-
D/W 圧力	不明	不明	145kPaabs	-	-	-
露点温度	不明	不明	不明	-	-	-
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4A,B使用不可	5A,Bトリップ	6B動作中 6A使用不可 HPCS使用不可
外部への放射能	モニタリングポストは電源喪失のため、不明 モニタリンググカーにより、敷地内の放射性物質の測定を行い、通常値と変動ない					
その他情報	中操照明確保準備中 M/C水没	中操照明確保準備中 M/C水没 2u 優先で電源戻すなごこみ 作業待ち(電源車がプラント 側に届いていない;ヘリX)	中操照明確保準備中 M/C水没	中操照明確保準備中 M/C水没	中操照明確保準備中 M/C水没	中操照明確保準備中 M/C水没

(1)

NM-51-19 原子力災害対策マニュアル
2010年 11月 01日(08)

【別紙2: 放射性物質及び放射線に関するデータ】

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(日 時 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: cps

固定式モニタリング設備地点										
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		

可動地点					
γ線空間線量率	設備地点名	正門	管理棟		
	17時30分	49 μSv/h	— μSv/h	μSv/h	μSv/h
	17時40分	56 μSv/h	— μSv/h	μSv/h	μSv/h
	17時50分	— μSv/h	64 μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				

単位
μSv/h

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
※データについては、おおよその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

(3)

NM-51-13 原子力災害対策マニュアル
2010年—01月—01日(08)

【別紙 2:放射性物質及び放射線に関するデータ】

3. 放射線モニタリングの状況

注 1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注 2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(日 時 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: cps

固定式モニタリング設備地点										
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		

可動地点					
γ線空間線量率	設備地点名	MP-6 付近	MP-7 付近	MP-5 付近	
	18 時 45 分	56 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	μSv/h
	19 時 00 分	— μSv/h	57 μSv/h	— μSv/h	μSv/h
	19 時 10 分	— μSv/h	— μSv/h	55 μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名	体幹線			
項目	921 搬送	17 時 25 分	1.1 × 10 ⁶ Bq/m ³		
		時 分			
		時 分			

単位:
μGy/h

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

3

NM-51-13 原子力災害対策マニュアル
2010年 月 日(08)

【別紙 2: 放射性物質及び放射線に関するデータ】

3. 放射線モニタリングの状況

注 1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注 2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(日 時 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: cps

固定式モニタリング設備地点										
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		

可動地点					
γ線空間線量率	設備地点名	MP-4	MP-3	MP-6	
	19時15分	59 μSv/h	- μSv/h	- μSv/h	μSv/h
	19時20分	- μSv/h	59 μSv/h	- μSv/h	μSv/h
	19時52分	- μSv/h	- μSv/h	57 μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				

単位
μSv/h

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

NM-51-13 原子力災害対策マニュアル
2010年 3月 02日(08)

【別紙2:放射線物質及び放射線に関するデータ】

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(日 時 分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: cps
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: cps

固定式モニタリング設備地点										
γ線空間線量率	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h		

可動地点					
γ線空間線量率	設備地点名	MP-6付近			
	20時00分	60 μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	20時10分	59 μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	20時20分	61 μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
	時 分	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³	Bq/cm ³
その他測定項目	設備地点名	MP-6付近			
項目	20時10分	1.7×10 ⁶ Bq/cm ³			
	時 分				
	時 分				

注:
αSv/h

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

1/F - 2 = 44 = 7"カ - 1 = 23.7 - 7

19°45'

風向
NW

風速
2.8 m/s

20°35'

E

0.4 m/s

20°45'

NE

0.4 m/s (揚塵 61 mg/y/h)

Hand 10

7

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 11 日 (第 報)
発信時刻 時 分
(第 15 条 1 項 6 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長

連絡先(原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称:東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分:電気事業) 場所:福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第2号炉	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日 時 分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	原子力緊急事態に該当 (<input checked="" type="checkbox"/> する, <input type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	2号炉のTAF型原子炉は、21時40分頃 2号炉のTAF型原子炉は、21時40分頃 と評価しました。 炉心損傷開始予想:22時20分頃、RPV破損:23時50分頃 1号炉は評価中
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: <u>不明</u>
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候 : <u>不明参照</u> ・風向 : 方位 <u>不明参照</u> ・風速 : m/s ・大気安定度 :
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: <u>別紙参照</u>
	応急措置	

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

21:00現在

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	I C動作中 HPC I (電源復旧待ち)	当初、RCIC が起動し、L8 トリップ、その後、再起動前に電源喪失で起動不可 RCIC 停止中 HPC I (電源復旧待ち)	RCIC 動作中	停止中	停止中	停止中
原子炉圧力	不明 (20 時 15 分以降確認できず:PHS 不通)	不明 (20 時 15 分以降確認できず:PHS 不通)	7.2MPa	-	-	-
原子炉水位	不明 計測電源喪失のため	水位不明 計測電源喪失のため	+900mm (ワイド)	-	-	-
D/W 圧力	不明	不明	155kPaabs	-	-	-
露点温度	不明	不明	不明	-	-	-
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4AB使用不可	5ABトリップ	6B動作中 6A使用不可 HPCS 使用不可
外部への放射能	モニタリングポストは電源喪失のため、不明 モニタリングタワーにより、周辺監視区域境界近傍の放射性物質の測定を行い、通常値と変動ない					
その他情報	中核照明確保準備中 M/C 水没	中核照明確保準備中 M/C 水没 2u 優先で電源車つなぎこみ 作業待ち (電源車がプラント側に届いていない:ヘリX) D/D 消火ポンプを起動し、炉圧が低下したら注入できる体制をとっている。	中核照明確保準備中 M/C 水没	中核照明確保準備中 M/C 水没	中核照明確保準備中 M/C 水没	中核照明確保準備中 M/C 水没

SPA: 第一運転管理部運転評価 G

1F - E = タリントカ - 1 = 23 J - J

(MP-63付近) 正内付近

時刻	濃度	風向	風速
----	----	----	----

19 ⁰⁰ 45'	57 ^{mGy/h}	NW	2.8 ^{m/s}
----------------------	---------------------	----	--------------------

20 ⁰⁰ 35'	67 ^{mGy/h}	E	0.4 ^{m/s}
----------------------	---------------------	---	--------------------

20 ⁰⁰ 45'	61 ^{mGy/h}	NE	0.4 ^{m/s}
----------------------	---------------------	----	--------------------

21 ⁰⁰ 00'	60 ^{mGy/h}	NW	0.4 ^{m/s}
----------------------	---------------------	----	--------------------

11年03月11日(金) 22時08分 宛先:一斉

発信:内閣府 地震・火山対策担当

R: 953 P: 18

11-03-11 21:45 0240326104

発信:東京電力(株) 福島第一原発 緊急対策室

FAX>FAX 08P/10P

11年03月11日(金) 21時48分 宛先:10条*3

R: 867 P: 08/10



訂正 Rev1

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 11 日 (第 報)

発信時刻 時 分 (第 15 条-6 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第2号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 26 分 (2.4 時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	2号炉のTAF刻置予想は、21時40頃と評価しました。 炉心損傷開始: 22時20分頃 RPI/280: 23時50分頃 13号炉は評価中
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候: 不明 ・風向: 方位 ・風速: m/s ・大気安定度
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
	応急措置	

11年03月11日(金) 22時09分 宛先:一斉

発信:内閣府 地域:火山対策担当

R:953 P.19

11-03-11 21:45 0240326104

発着:東京電力(株) 関東第一原発 緊急時対応

FAX>FAX 09P/10P

11年03月11日(金) 21時48分 宛先:10条*9

R:867 P.09/10

⑦-1

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

21:00現在

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	IC動作中 HPC1 (電源復帰待ち)	当初、RCICが起動し、LBトリップ。その後、再起動前に電源喪失で起動不可。RCIC停止中。HPC1 (電源復帰待ち)	RCIC動作中	停止中	停止中	停止中
原子炉圧力	不明 (20時15分以降確認できず:PMS不通)	不明 (20時15分以降確認できず:PMS不通)	7.2MPa	-	-	-
原子炉水位	不明 計測電源喪失のため	水位不明 計測電源喪失のため	+900mm (ワイド)	-	-	-
D/W圧力	不明	不明	155kPaabs	-	-	-
露点温度	不明	不明	不明	-	-	-
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4A,B使用不可	5A,Bトリップ	6B動作中 6A使用不可 HPCS使用不可
外部への放射能	モニタリングポストは電源喪失のため、不明 モニタリングカーにより、周辺監視区域境界近傍の放射性物質の測定を行い、通常値と変動ない					
その他情報	中長照旧確保率降中 M/C水没	中長照旧確保率降中 M/C水没 2u 優先で電源喪失防止のため、作業待ち (電源車がプラント側に届いていない;ハリX) D/D 消火ポンプを起動し、圧力が低下したら注入できる体制をとっている。	中長照旧確保率降中 M/C水没	中長照旧確保率降中 M/C水没	中長照旧確保率降中 M/C水没	中長照旧確保率降中 M/C水没

SPA: 第一運転管理部運転評価 G

'11年03月11日(金) 22時09分 宛先:一斉

発信:内閣府 地震・火山対策担当

R:953 P.20

FAX>FAX 1UP/END

R:867 P.10/10

2011-03-11 21:45 0240326104

発信:東京電力(株) 福島第一原発 緊急対策室

'11年03月11日(金) 21時48分 宛先:10条*3

1 F-ε = タリ = 7カ - 1 = 23 J - 7 (7)-2

(MP-63.1近) 正内付近

時刻	濃度	風向	風速
19 ⁰⁰ 45'	57 mGy/h	NW	2.8 m/s
20 ⁰⁰ 35'	67 mGy/h	E	0.4 m/s
20 ⁰⁰ 45'	61 mGy/h	NE	0.4 m/s
21 ⁰⁰ 00'	60 mGy/h	NW	0.4 m/s

10X 2210



様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 11 日 (第 報)
発信時刻 時 分
(第 15 条 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所
名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分: 電気事業)
場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所
福島第一原子力発電所 第三号炉 1.2号機

特定事象の発生時刻
平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要
特定事象の種類: ⑥ 非常用炉心冷却装置取水不能
原子力緊急事態に該当 (する, しない)
想定される原因: 特定 調査中
検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等:
23機に7.11.11. 原子炉水位の利明し 現在
TAF+2.900m 上層にある。
このため、先にFACSC(た21時40分のTAF利通)を付し
(TAF利通より時間かかる見込み → 再連絡中)
13機に原子炉水位の利明し 現在 TAF+2.900m 上層にある
TAF利通予定: 軽微中

その他特定事象の把握に参考となる情報
被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
被ばく者の状況: 無 不明
 有: 被ばく者 名 要救助者 名
汚染拡大の有無: 無 有:
気象情報 (確認時刻 時 分)
・天候: _____
・風向: 方位 _____
・風速: _____ m/s
・大気安定度: _____
周辺環境への影響: 無 有:
応急措置

1H - モニタリング - 10条*3

(MP-6付近) 玉内付近

時刻

雨量

n線

風向

風速

21°30'

62 $\frac{ng}{h}$ $\frac{us}{h}$ $\frac{0.001B}{h}$

NE

0.4 m/s

21°40'

61 $\frac{ng}{h}$ $\frac{us}{h}$ $\frac{0.001B}{h}$

NW

0.5 m/s

21°50'

61 $\frac{ng}{h}$ $\frac{us}{h}$ $\frac{0.001B}{h}$

ENE

0.4 m/s

10x LL20

9

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 (3 月 11 日 (第 報)

発信時刻 時 分

(第 15 条 - 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称:東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分:電気事業) 場所:福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第二号機 1-2号機	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日16時36分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	㊟非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (☑する, ☐しない)
	想定される原因	☐特定 ☐調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	22時10分現在の状況(原子炉水位) 1号機 TAE+550mm 2号機 TAE+2800mm (1-2相当)
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 ☐無 ☑不明 ☐有:被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ☐無 ☐有:
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候 : ・風向 : 方位 ・風速 : m/s ・大気安定度 :
	周辺環境への影響	☐無 ☑別紙参照 ☐有:
	応急措置	

福島第一原子力発電所 フラント関連パラメータ

22:00現在

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	1C動作中(21:30 減圧開始 3A弁開) HPCI(電源復帰待ち)	当初、RCICが起動し、LBトリップ、その後、再起動時に電源喪失で起動不可。RCIC停止中。HPCI(電源復帰待ち)	RCIC動作中	停止中	停止中	停止中
原子炉圧力	不明 (20時15分以降確認できず。PHS不通、20:07で6.6~7.2)	不明 (20時15分以降確認できず。PHS不通)	7.2MPa	-	-	-
原子炉水位	燃料頂部から+550mm	水位計復帰 燃料頂部から+3400mm (燃料実)	+350mm(ロイド)	-	-	-
D/W圧力	不明	不明	155kPaabs (21:00の情報のまま)	-	-	-
露点温度	不明	不明	不明	-	-	-
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4A使用不可	5ABトリップ	6B動作中 6A使用不可 HPCS使用不可
外部への放射能	モニタリングポスト6:60nG変化なし他は不明 モニタリングカメラにより、周辺監視区域境界近傍の放射性物質の測定を行い、通常値と変動ない(22:00)					
その他情報	中操照明確保(既設設置) M/C水送	中操照明確保(既設設置) M/C水送 2u:優先で電源車到着(クラント) M/C2Cにケーブルをつなぎ込め準備中。	中操照明(既設確保) M/C水送	中操照明(既設確保) M/C水送	中操照明確保(通常) M/C水送	中操照明確保(通常) M/C水送

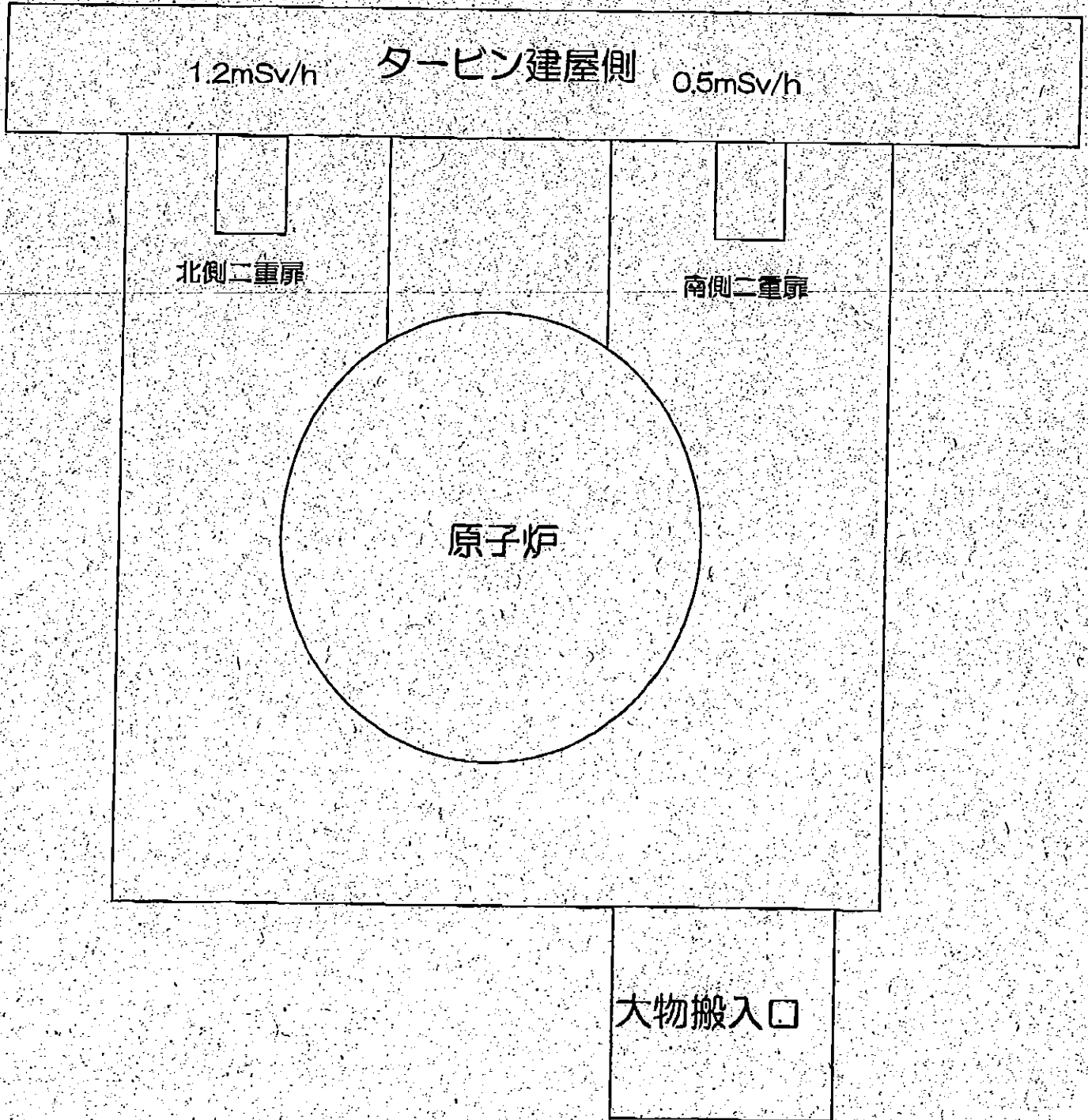
SPA:第一運転管理部運転評価G ()

1F - 6号機 - 7号機 - 8号機

(MP-6付近) 正内付近

時刻	γ線	n線	風向	風速
21:30'	62	nGy/h < 0.001 B/h	NE	0.4 m/s
21:40'	61	nGy/h < 0.001 us/h	NW	0.5 m/s
21:50'	61	nGy/h < 0.001 us/h	ENE	0.4 m/s
22:00'	59	nGy/h < 0.001 us/h	N	0.4 m/s

← 北側



1号機原子炉建屋

水 11

MP-6付近

(MP-6付近) 正対付近

時刻 方位 風速

時刻	方位	風速	風向	風速	風向	風速	風向	風速	風向
21'50"	61	<0.00	ENE	0.4	ENE	0.4	ENE	0.4	ENE
22'00"	59	<0.00	N	0.4	N	0.4	N	0.4	N
22'10"	60	<0.00	ENE	0.6	ENE	0.6	ENE	0.6	ENE
22'20"	62	<0.00	NE	0.5	NE	0.5	NE	0.5	NE
22'30"	60	<0.00	NNW	0.5	NNW	0.5	NNW	0.5	NNW
22'40"	60	<0.00	N	0.6	N	0.6	N	0.6	N
22'50"	59	<0.00	W	0.7	W	0.7	W	0.7	W
23'00"	60	<0.00	N	0.8	N	0.8	N	0.8	N
23'10"	63	<0.00	WNW	0.4	WNW	0.4	WNW	0.4	WNW
23'20"	60	<0.00	N	0.3	N	0.3	N	0.3	N